

令和 5 年 2 月
水 産 庁

インド洋まぐろ類委員会（I O T C）特別会合の結果について

1. 開催日時

- 対面（ケニア）及びウェブ会議形式で開催。
- 令和 5 年 2 月 3 日（金）から 2 月 5 日（日）まで。

2. 参加メンバー等

- 日本、韓国、南アフリカ、EU 等 26 カ国・地域。
- 我が国出席者：鹿田水産庁資源管理部国際課海外漁業協力室長（政府代表）ほか、水産庁、外務省等。

3. 結果概要

インドネシア等による集魚装置（FADs）の規制提案（※）について採択された。

※集魚装置（FADs）提案の主な内容（2024 年 1 月から実施）

- （1）FADs 数制限（1 隻あたり最大設置数 250 個（2025 年まで）、200 個（2026 年以降）、年間取得数 300 個まで）（現行：設置数 300 個、取得数 500 個）
- （2）生分解性素材の段階的（2027 年まで）義務付け
- （3）2023 年の科学委員会での助言を踏まえて 2024 年の年次会合で FADs 禁漁期を採択する。科学委員会が検討に必要なデータが不十分とした場合は、予防的措置として禁漁期（7 月 1 日～9 月 11 日）を導入する。
- （4）懸垂部の長さを 50m に制限
- （5）2024 年以降の支援船全面禁止（まき網船 2 隻以下の場合を除く）
- （6）ブイデータの監視システムを 2026 年から開始
- （7）紛失時の 72 時間以内通報